

# ボランティアネット通信

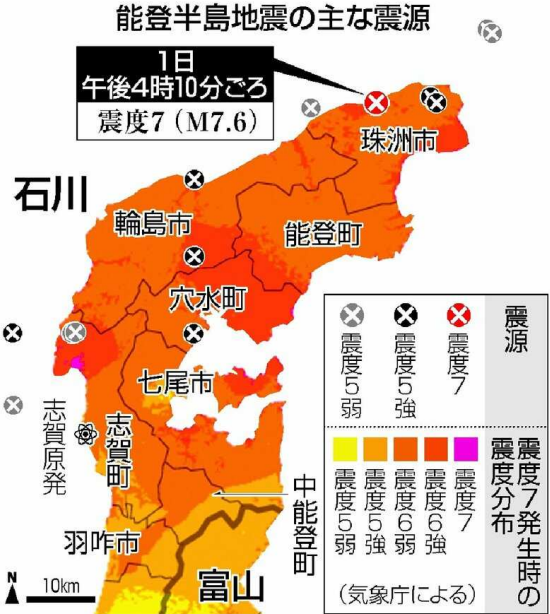
2024年6月  
能登半島地震版 2

NPO法人  
ボランティアネット  
茨城県古河市水海三〇一九  
Tel 0280-23-1441  
090-3097-4640  
Fax 0280-23-1446

この度の『能登半島地震』で被災されたすべての皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

当会はこの半年で、能登半島における活動を、14回行ってきました。

被災者が生活している地域に至る「道」そのものに甚大な被害が出ているため、生活支援・復興支援いずれもがどこおり、復興までの道のりは遠く険しいものとなっています。



『令和6年能登半島地震』とは、2024年1月1日に、石川県能登半島北東部を震源として発生した、マグニチュード7.1、最大震度7（輪島市・羽咋郡）の地震、ならびにその前後に発生した一連の群発地震を指す。



3月の輪島市内。陥没部分は埋められているが、ただ走るだけで車軸がゆがむほどの悪路だ



それでも私達は、できる場所ので、できることを、できる限りで活動してまいります。

ここに、私達の活動の報告を通して、現在の能登半島の状況をお伝えたいと思います。



# 支援活動の軌跡

当会では震災の様々な情報を整理しながら準備を整え、北陸の真宗大谷派（東本願寺の僧侶）有志の方々と協力して活動を開始しました。

そして1月から6月までの活動において、5カ所の避難所をまわり、炊き出しを行なってきました。

そのすべてが、キッチンカーによる温食の炊き出しを中心にしたものです。



1月29日 珠洲市  
たこじま  
**蛸島保育所避難所**

最初に足を運んだ先は、能登半島東北の端・珠洲市です。一月末の珠洲市は、道路こそ通行可能ですが、崩壊した家々があちこちに散見されました。

私たちは旧・蛸島保育所跡にて、野菜ラーメンやおでんなどの温食、肌着などの物資の配布を行いました。

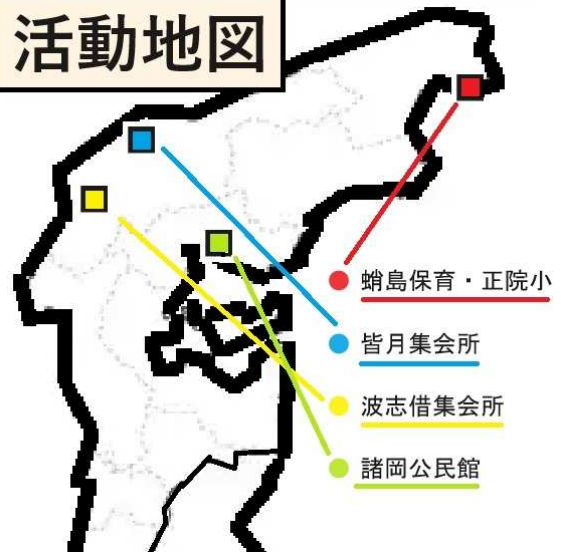


## 《現地の声》

「2007年の地震、去年・一昨年と地震が続き、そのたびにまだまだ頑張れるとなんとか踏ん張ってきたけど、今回の地震でもう心が持ちそうもない。  
そんな中、遠くから温かい物を届けてくれる方々がいるから、もう一度踏ん張れる力がもらえます」



## 活動地図



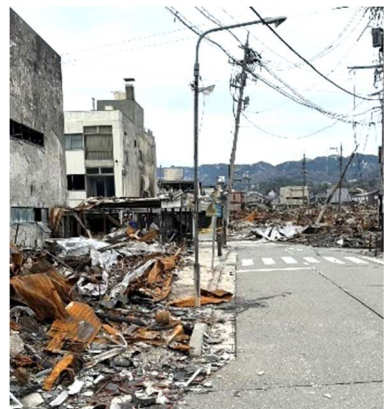
1月30日 輪島市  
もろおか  
**諸岡公民館避難所**

翌日は輪島市の西の端・諸岡公民館です。

こちらでは、温かいけんちんうどん・おでんと、様々な物資を配布しましたが、やはり震災の心的外傷は深いようです。

	月日	支援活動の場所
1	1月29日	蛸島(たこじま)保育所避難所(珠洲市)
2	1月30日	諸岡(もろおか)公民館避難所(輪島市)
3	2月13日	正院(しょういん)小学校避難所(珠洲市)
4	2月14日	諸岡(もろおか)公民館避難所(輪島市)
5	2月26日	波志借(はしかり)集会所(穴水町)
6	2月27日	皆月(みなづき)多目的集会所(門前町)
7	3月12日	波志借(はしかり)集会所(穴水町)
8	4月24日	波志借(はしかり)集会所(穴水町)
9	4月25日	皆月(みなづき)多目的集会所(門前町)
10	4月25日	諸岡(もろおか)公民館避難所(輪島市)
11	5月14日	皆月(みなづき)多目的集会所(門前町)
12	5月15日	正院(しょういん)小学校避難所(珠洲市)
13	6月4日	正院(しょういん)小学校避難所(珠洲市)
14	6月5日	皆月(みなづき)多目的集会所(門前町)

《現地の声》  
 「輪島朝市が炎上しているのを、子供が見ていました。もう輪島には住みたくない戻りたくないと言われた」  
 「あの炎上した光景を思い出すと涙が出て、夜も眠れない」



輪島朝市の焼け跡

2月13日 珠洲市  
 しょういん  
**正院小学校避難所**

2月も活動は続けます。  
 今回は蛸島保育所跡の近くの、正院小学校の校庭です。  
 この小学校では1階と2階が避難所で、3階では小学校の授業が始まっています。



仮設住宅(2月)

グラウンドには、ようやく仮設住宅が建ち始め、入居が始まりました。

この仮設住宅は、平成30年(2018年)の北海道胆振東部地震で使用された仮設住宅を、こちらまで運んで組み立てたものだそうです。5月には防寒パネルが取り付けられ、非常にクオリティの高い住宅となりました。



仮設住宅(5月)。内部は木材が使用され、住み心地の良い住居となっている

2月14日 輪島市  
 もろおか  
**諸岡公民館避難所**

《現地の声》

「温かいけんちんうどんを  
 ありがとうございます。明日からまた頑張れます」  
 「こうした、ご支援が何より  
 力になります」  
 「本当に辛い気持ちを聞いて  
 欲しい」  
 「泣ける場所が欲しい」



2月26日 穴水町  
 はしかり  
**波志借集会所**

2月二度目の能登です。

「この避難所は一度解散  
 したのですが、皆さんに声を  
 かけていただき集まってもら  
 いました。」  
 鍋を囲みながら語り合う  
 ひと時、笑顔が絶えませんで  
 した。



《現地の声》  
 「震災疲れが心身に及んだ私  
 達にとって、この会食はとて  
 も癒されます」

2月27日 輪島市門前町  
 みなづき  
**皆月多目的集会所**

能登半島北西の端・門前町  
 での活動です。ここは海岸沿  
 いの集落で、住民は約100名  
 ほど。この時点ではまだ断水  
 が続いており、道路状況も悪  
 く、午後3時には通行できな  
 くなるため、お昼の炊き出し  
 となりました。



この集落に炊き出しが来  
 るのは初めてだそうです。  
 キッチンカーが来ること  
 を事前に皆様に通達をして  
 いただきました。



能登半島北部・門前町付近の海岸。白い岩は、かつて海底だった所。地盤隆起で港は干上がり、遠浅の砂浜がずっと続いている。

《現地の声》

「こんなところまで、本当に  
 ありがとうございます。  
 カップラーメンばかりでし  
 たので、手作りのラーメンが  
 食べられ、嬉しいです」



この地区の人々は、ほぼ自宅に戻っており、避難所としては使われなくなっていました。前回同様皆さんに声をかけていただき、集まってもらいました。

《現地の声》

「お刺身なんて、2カ月食べないですよ。本当にありがとうございます」

3月12日 穴水町  
はしかり  
波志借集会所

4月24日 穴水町  
はしかり  
波志借集会所

3月に引き続き、4月も波志借での活動です。

今回の活動で、この集会所は避難所としては閉所となります。備蓄していた物資は、能登教務所が引き取り、必要とされる避難所・仮設集会所に届けることになりました。

閉所となっても、この集会所をご縁としてまた交流を深められたらと思います。

4月25日 輪島市  
諸岡公民館避難所  
皆月多目的集会所

翌日は、能登北西部にある、近隣二か所での活動です。海からの風が強く吹く地区です。



皆月集会所付近には、ツバメ・ネコ・トンビ等、多くの生き物がいる。右下の入り口にあるヒラヒラは、ツバメよけのもの。



竹製防風柵に守られた家屋

そのため家々には竹製や金属製の防風柵がとりつけられています。

強風対策で、ラーメンの盛り付けは公民館の中で行いました。



5月14日 輪島市門前町  
みなづき  
皆月多目的集会所

5月15日 珠洲市

正院小学校仮設  
しょういん

6月4日 珠洲市

正院小学校仮設  
しょういん

正院小学校校庭に作られた仮設住宅は高品質で、居住者にも喜ばれています。暖かな木のぬくもりに包まれての会食は、とつても和やかでした。



しかし、多くの人々はラーメンを持ち帰ります。半分以上の方が、近くの自宅まで。  
《現地の声》

「いろいろ壊れているけれど、やっぱり自分の家が一番だからねえ。この仮設住宅見たら、少しだけ心揺れるけど(笑)」

6月5日 輪島市門前町

皆月多目的集会所  
みなつき

様々なところで活動していますが、よく尋ねられることがあります。

「また、来てくれるかい？」  
そんな時、私達は必ずこう応えます。

「はい、必ず！」

私達の活動は続きます。「もう大丈夫です」と、言われるその日が来るまで――

共に活動する仲間たち

私達はキッチンカーで、温かい食事を被災地まで運びます。しかし私達だけでは十分な活動はできません。

現地において、支援が必要な場所へ、必要とされる支援を行う。そのための情報を集め、共に活動してくださる仲間がいるから、私達はこれだけの活動を続けてこられたのです。

「真宗大谷派 能登教務所」、  
「富山教区災害復興支援ネットワーク有志」、石川県在住の浄土真宗寺院関係者、そこから生まれた有縁の皆様。これからも、どうぞよろしくお願いたします。



七尾市にある「真宗大谷派 能登教務所」。物資集配・情報交換・水補給・宿泊等、今回の支援活動における重要拠点となっている。



# 能登の現状と輪島への道

わじま



「能越自動車道(通称・のと里山海道)」

通常、自動車で能登半島北部へ向かう場合、まず「北陸自動車道」で石川県に入ることになる。

東からだと、「国道249号線」を利用し、西からだと「能越自動車道(通称・のと里山海道)」を利用することになる。

3月の支援では、西部のかほく市から輪島市へと向かったため、のと里山海道を利用することとなった。

## のと里山海道は

### 一方通行

「道路の破損・変形がひどいから、運転には十分注意しろ」  
出発前の忠告を胸に車を進める。

東日本大震災の記憶と、前に見た写真から、相当の難所だろうと覚悟を決めて、ハンドルを握った。

実際、3月13日の時点で、

海道は全面開通したわけではなく、穴水町周辺からは一方通行となっていた。

輪島市から帰る場合、国道249号線を利用し、穴水町まで帰らねばならない。



「のと里山海道・七尾市」  
1月6日 産経新聞

半島の中央部・穴水町。

ここから北の輪島市・能登町・珠洲市にかけて、深刻な被害を受けた地域だ。穴水町に入ると同時に、被害の度合いがひどくなる。

しかし、現在進行形で道路の補修は進められており、7人乗り乗用車を運転しているも、あまり気にならない揺れ具合だった。

重トラック・タンクローリー、宅配車、キッチンカーなど、重量車にとって、補修工事中の段差は大きな障害だ。乗り越えるたびに、ブレーキを踏み、速度は落ちる。

しかしそれだけだ。  
時速35km程度を維持したまま、特に大きな渋滞もなく、車列は進む。

時々、雪まじりのみぞれが降るが、積もることもない。  
数時間で、我々は輪島市に到着した。



「のと里山海道・穴水町」3月13日  
一方通行だが、どんどん補修は進んでいる

## タンクローリー・

## コンビニ・宅配車

輪島市街に入り、目に入ったのは、想像通りの被災した家並み、道路。そしてタンクローリーが入っているガソリンスタンド、電気のついているコンビニ。なにより、あちこちを走る宅配車。



輪島市街、3月13日。目の前で、様々な補修が進められている。行きにあった陥没が、帰りにはアスファルトで埋められていた。

下水以外のインフラは、かなりのレベルで復旧しているようだ。さすがに、埋設された下水管の復旧はまだのようで、「トイレ使用できません」の張り紙があるコンビニも散見された。

## 修理される家

## 放置される家

輪島市内の各所で、壊れた家を片づけたり、修理している様子が見られる。中にはすでにしっかり足場を組み、大規模な修繕を行っている家もあった。



輪島市街、重機による解体はあちこちでみることができた。



逆に全く手が入れられていない、放置されている家もたくさんある。

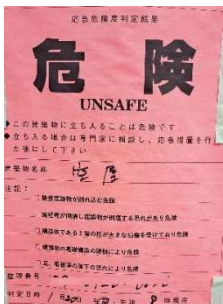
左下の二枚は、市内でよく見た張り紙だ。家屋の損壊具合から「危険」「要注意」「安全」の三種類に分類し、張り出して注意を促しているようだ。

緑色の「安全」の張り紙はほとんど見られない。安全ゆえに、実際に住人が住んでおり、張り紙を取ってしまったというからだ。

逆に言えば、これらが貼られたままの家屋は、危険なため、だれも住んでいないこととなる。

「壊れている家には誰も住んでいないから、勝手に撤去することも、片付けることもできないんですよ」  
「避難先もわからないから、連絡を取ることもできない。いつまでもこのままです」

現地の人の声は苦悩を含んでいた。



1月ごろに貼られたものらしく、ほとんどが風に吹かれて乾ききっていた。



輪島朝市の跡に足を踏み込むと、その惨状にしばし息をのんだ。

誰も住んでいない。住めるはずがない。すべてのインフラを失った焼跡では――  
 わずかに残った家の柱には、避難先の住所・連絡先が記されている。  
 「必ず輪島に帰ってきます」



建設中の仮設住宅。東北の復興も、まずこの建物が作られてから始まった。

現在、市内各所に仮設住宅が建設されている。市街避難者が、市内の仮設住宅に住み着き、自宅の片づけを進めない限り、この地の復旧は始まらないだろう（3月取材）。

# 能登の現状2 ～ 珠洲の道

すず

3月の輪島市に続き、6月4日、今度は能登半島東の突端・珠洲（すず）市に入った。

**砂利道と  
路上の倒壊家屋**

「一方通行とはいえ、輪島市に至る道は整備されつつあり、物資も届けられている。

道路は通っていた。「通れない道」を「通れる道」にしていただけなの。復興の第一歩に違いない。

いくら能登半島の突端とはいえど、半年もたてば、ある程度は復興しているだろう」

しかし路面がへこみ、ゆがんだ状態のままでは、乗用車すらもグラグラ揺れ、運転を誤れば車軸に深刻なダメージをうける。

そんな甘い思いは、即座に打ち砕かれた。

（この部分の具体的な描写は、下の画像と合わせて読む）



珠洲市内では、あちらこちらに倒壊した建物が見られた。修復に入っている家も見られるが、まれである。



なかには、倒壊した家屋が、路上にまで倒れこんでいるところもあった。

乗用車が通れる隙間があるので通行はできたが、さすがに肝が冷える場所だった。

## 最低限を

## 押し上げている

すべてがギリギリの町だ。道は通れればよし、家は雨風がしのげればよし、壊れた家屋は邪魔にならなければよし。町全体が、その「ギリギリ最低限」を、少しずつ押し上げて、街を取り戻そうとしている。そんな感じだ。



一部の道路は、破損したアスファルトをすべて撤去し、平らな砂利道になっている。しかし液状化現象で浮きあがったマンホール・バルブなどまでは手が回らず、コーンを立てて注意を促している。

海沿いに行くと、大量の瓦礫袋が並んでいた。堤防代わり、そして瓦礫の撤去先を兼ねた処分場なのだろうか。



## 少しずつしか：

6月5日、輪島市の朝市で焼け跡の「公費解体」が始まった。これで、所有者全員の許諾を得られなくても、申請さえあれば撤去が可能となる。

しかし焼け跡ならばいいが、それをすべての被災地で適用させるわけにはいかない。少しずつ、少しずつ進めるしかないのが、現実だ。

(6月取材)

## 正会員・賛助会員・寄付者 (敬称略・順不同)

(期間：令和5年4月1日～令和6年3月31日)

葦原由美子、阿弥陀寺、飯貝宗淳、石川石材社長、石川真樹、今泉温資、岩松知也、  
 因宗寺 柏女有教、梅溪得文、雲国寺、永泉寺 相馬法道、円鏡寺、圓光寺、  
 大久保千枝子、大輪喜代子、柿沼正男、風野芳之、菊池弘昭、北島栄誠、倉持清、  
 桑原正信、溪雲寺、光照寺、高德寺、光明寺 小林尚樹、光明寺 三浦大悟、光了寺、  
 古賀美津子、小島森一、弧野やよい、小林三喜、狛一、西円寺、西岸寺 友松雅英、  
 佐々木誠正、澤田恵子、正恩寺、正覚寺 山吹照久、勝願寺、勝願寺 井上証、  
 浄慶寺 大塚展彦、浄眞寺 前田義朗、浄泉寺、浄善寺、正蔵寺、聖徳寺、称念寺、  
 常福寺 八田信雄、常福寺 八田裕生、乗満寺 遠藤賢順、白山勝久、真照寺、真福寺、  
 鈴木友好、スタジオポップヘアー、専行寺 平松正信、専勝寺 碧海宏、宗泉寺 旦保立子、  
 相馬法道、存明寺 酒井義一、諦聴寺、田上翼、田代和子、(有)谷駒 梁河綾子、  
 玉寄富仁枝、智願寺、忠綱寺、長願寺、聴法寺、塚崎ゆうこ、等覚寺 小田昭彦、等覚寺、  
 東京教務所、ドウキュウジ、延岡潤照、梅寿光殊、橋本コノミ、蓮尾千夏子、秦秀人、  
 坂東性悦、東出睦治、樋崎菜々、藤津裕子、藤場芳子、淵上一知、淵上知明、片州の会、  
 法善寺、堀秀隆、本多雅人、松野祐、松本きみ子、三池眞弓、宮地修、妙安寺(一ノ谷)、  
 妙安寺(みむら)、明覚寺 小野秀之、妙徳寺、明福寺、無藤綾華、無藤和美、櫻歩、森仁、  
 梁河綾子、唯信寺 穴戸将、佑浩寺 酒井裕、吉田幸代、吉田徳昭、吉弘祐子、横田洋、  
 了因寺 吉岡康裕、了因寺 同朋の会、了覚寺 加藤慈子、蓮慶寺、脇淵テツエイ、  
 「一夜を共に過ごす旅」一同

皆様の温かいご支援に心より感謝申し上げます。

尚、今後も支援活動を継続してまいりますので、

引き続きお力添えをよろしくお願い申し上げます。

今回、「日本財団」様からも、「能登半島地震の被害への支援」として、活動費の支援をいただきました。ここに改めて感謝申し上げます。

Supported by  日本 THE NIPPON  
財団 FOUNDATION

# キッチンカー再生の クラウドファンディング計画

当会を代表する存在・キッチンカーは、2014年10月に中古車を購入して改良したものです（車体は2006年製造）。

それ以来、宮城県石巻市、福島県いわき市、茨城県常総市、熊本県、長野県、そして今回の石川県と、被災地をめぐりながら、多くの人々に温かい食事と、笑顔・安心を運んでまいりました。



ピンク色のキッチンカー。  
2023年の整備の際、ブルーに塗装された。

しかし車齢的にも限界を迎えたため、新しいキッチンカーが必要となりました。

7月上旬

新キッチンカーのための  
クラウドファンディングを  
開始いたします

詳細は左のQRコードから  
閲覧できます。皆様のあつ  
いたします。志を、どうぞよろしくお願  
いいたします。



クラウドファンディングのページ  
に移動します。動画もあります  
ので、どうぞご覧ください

## ご協力をお願い

「NPO法人 ボランティア  
ネット」は、現在も支援活  
動を続けており、また活動を  
支えてくださる、「正会員」  
「賛助会員」を募集しており  
ます。

また、ご寄付も随時受け付  
けております。

「ゆうちょ銀行」での寄付を  
希望される方は、ご連絡くだ  
されば「振込用紙」を送付い  
たします。

「銀行振り込み」の場合は、  
左記の口座への振り込みを  
お願いします。

常陽銀行 総和支店  
普通 1438993  
口座名：…

NPO 法人  
ボランティアネット



NPO法人ボランティアネットの  
サイトです。ブログや、これまで  
の会報が掲示されています。

被災地に関するさらに詳  
しい情報や、これまでの活動  
に関する資料は、ホームペー  
ジに掲載されています。  
左のQRコードよりご覧  
ください。

